

科目ナンバリング		U-LAS22 20004 SO48									
授業科目名 <英訳>		フランス語II B F2154 Intermediate French B				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 中筋 朋			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語及びフランス語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)				
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	火3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
<フランス文化> この授業では、初級文法を学習し終えた学生を対象として、フランス語の講読をおこなう。教科書として『オデュッセウスのような英雄が...』をとりあげ、前期のつづきを読んでいく。これはフランスの高校生向けの教科書で、ホメロスからカミュ、トルキンにいたるまでの英雄をめぐるさまざまなテキストのアンソロジーと、それを論じる箇所から構成されている。 授業では、日本語として美しい和訳をつくっていくことよりも、フランス語の語順のくせを理解し、内容について自分のことばで説明できるくらいまで把握することを主眼とする。 そのためには、ある程度の量を読むことが必要である。そこで、予習をもとにした教科書の読解を進めるとともに、各回の授業において簡単な読解テストをおこなう。これは、2ページほどの簡単な寓話をその場で3回音読し、その寓話の簡単な要約を書いてもらうという形でおこなう。また、その寓話についての簡単な解説を読むことで、読解力の幅を広げる。 教科書についても、精読してきてもらって訳してもらう箇所と、ざっと読んできてもらって内容確認問題を解いてもらう箇所にわけながら、できるだけ多く読めるように進めていく。 また、授業時間中におこなう読解に加えて、文法の復習かつ総合力をつけるために、フランス語のディクテーションの小テストを数回おこなう。これについては初回の授業でやり方を説明し、授業時間外に練習してテストに挑戦してほしい。 最終的には、日本なら岩波ジュニア新書にあたるような中学生、高校生向けの著作を読めるようになることを目指す。											
[到達目標]											
・読解を通じてフランス語の文法や表現についての理解を深める。 ・フランス語のさまざまな読み方(精読と通読など)ができるようになる。 ・フランス語の文章の朗読を聞いて、正しい綴り字で書き取ることができる。											
[授業計画と内容]											
授業計画と内容 1. オリエンテーション 授業の進め方とディクテーションについての説明 2~14 読解 ・読解小テスト ・講読 (このなかで数回ディクテーションの小テストをおこなう) 15 フィードバック											
フランス語II B F2154(2)へ続く↓↓↓											

フランス語ⅡB F2154(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点（訳読・理解度小テスト）40%、ディクテーション30%、最終テスト30%により評価する。寓話読解と教科書の内容確認テストは毎回おこなう。

[教科書]

『Heros qui comme Ulysse』（2016）ISBN:9782081385146

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

- ・ 毎回5~6ページほどのフランス語をよんできてもらうので、特に慣れるまではしっかり予習の時間を確保してほしい。
- ・ 小テストのためのディクテーションの練習

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]